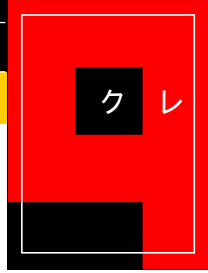
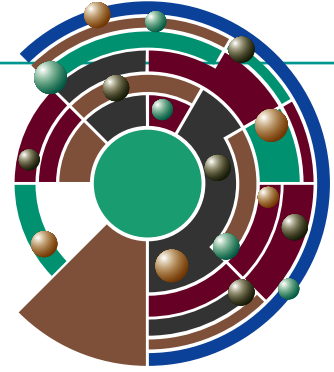


CLETECK
SYSTEM
TORISUMI



クレテックシステム



金具工法のプレカット

建築業界をとりまく様々な環境の中、時代が求める新しい可能性を拓く、それがオープン化された金具工法（クレテックシステム）のプレカットです。トリスミは、新しい住まい造りを提案する建築会社の皆様のご要望にお応えします。

安全性

従来の仕口・継手による接合を「オリジナル金物」によってシステム化し、又、集材材を使用することにより、建物の強度をさらに高めることが出来ます。

耐久性

耐久力の優れた建物には、その強さを長い年月にわたって維持する耐久性も同時に要求されます。トリスミクレテックシステムと平行してAQ認定材を使用することにより、耐久性を飛躍的に向上することが出来ます。

経済性

主要部材の加工はコンピュータ管理された工場で行っています。つねに均一で高精度な部材の供給により、施工現場での作業の合理化でコストも抑えられます。また、従来工法のような大工の技術に影響されない均一で品質の高い住まいをお届けできます。

自由性

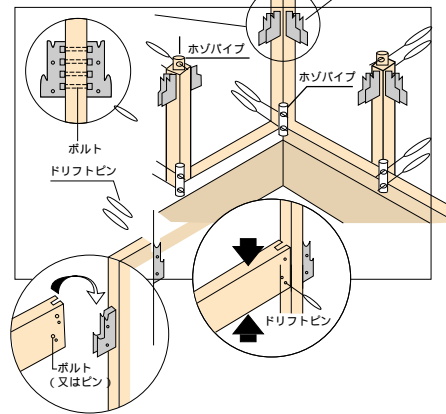
敷地の可能性を最大限に引きだし、2階建でも3階建でも、思いどおりの暮らしやすさを実現。さらには20年、30年後の暮らしの変化にも、柔軟に対応していきます。

施工方法

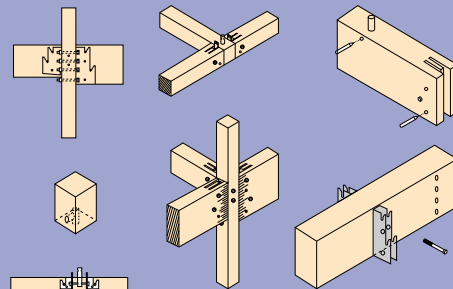
部材をあらかじめ加工します。
(定寸切断・ボルト、ピン、ホソパイプ)
(用穴あけ・スリット、欠き加工など)

柱にホソパイプを差し込み、ドリフトピンを打込みます。柱には、あご掛け金物を事前に取付けておき、金物はすべてボルトとドリフトピンでフィットさせます。ボルト締め、ドリフトピンの打込みは、ツールセットの工具で、簡単確実にできます。

柱への横架部材の組付けは、横架部材の仕口に先にボルト(又はピン)を通し、上から落とし込みます。次にドリフトピンを打込みフィットさせます。ボルトとドリフトピンの組合わせで、外圧(荷重・台風・地震など)に対して強い構造が出来上がります。



在来軸組工法と比べて
大幅な工期短縮
在来工法の仕口加工に
比べ仕口強度1.5倍
完全部材化で
トータルコスト安
初めての人でも簡単
加工・施工



在来(金物)
プレカット